

# 新時代 更なる飛躍の年に

# 広報

No.682

## 小さくてもきとんと 光る美しいまち

町 訪 詔 下 行 発  
係 災 防 報 情  
課 務 総 集 編

〒393-8501  
長野県諏訪郡下諏訪町4613-8  
☎ 0266-27-1111  
FAX 0266-28-1070  
下諏訪町ホームページアドレス  
<http://www.town.shimosuwa.lg.jp>  
E-mail=jyoho@town.shimosuwa.lg.jp

新年あけましておめでとうございます。皆様には、希望に満ちた輝かしい2020年の新春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げますとともに、日頃より町政の運営に温かいご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年5月、新天皇陛下のご即位とともに、平成から令和へと新しい時代が幕を明けました。町民の皆様一人ひとりが、様々な思いで時代の節目を迎えられたことと思いますが、引き続き平和な日本、そして平和な世界であることを願ってやみません。

歴史と伝統ある下諏訪町の町政を担わせていただき、早いもので四期目の最終年を迎えました。町民の皆様からいただきました信頼と付託にお応えすべく、本年も町政発展のために全力で取り組んでまいりますので、何とぞ一層のご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

昨今の我が国の経済状況は「景気は緩やかに回復している」としているものの、海外経済の動向や、消費税率引き上げ後の消費者マインドの動向、また、相次ぐ自然災害の経済に与える影響には十分留意する必要があります。今後ともあらゆる状況に対して、一層アンテナを高くし、住民に寄り添った行政サービスの実現、効率的かつ効果的な行政運営に日々心がけてまいります。

さて、近年、我々の想定をはるかに超える豪雨や台風などの自然災害が多発しており、当町でも、昨年8月、1時間63ミリという記録的な雨量を観測し、道路の冠水、土砂崩落など大きな被害を受けました。また、10月には台風19号により、県内北部を中心に河川の氾濫や大規模冠水、浸水など甚大な被害が発生し、被災地では今なお災害の爪あとが残っており復興に向けた懸命な取り組みが行われております。

当町では地域防災において重要な役割を担っていた約120名の「防災士」の皆様により「防災ネットワークしなすわ」が組織されており、その精力的な活動は「防災意識日本一の町」を目指す当町にとって大変頼もしく、今後も地域における防災リーダーとして、大きな期待を寄せているところであります。また、防災力強化の一環として、防災行政無線のデジタル化更新事業を本年も着実に進めるとともに、家庭用災害備蓄品の拡充など、災害に強いまちづくりの実現に向けた取り組みを、今後も全力で推進してまいります。

今年は何となくいい感じでもオリンピック・パラリンピックが東京で開催される年であり、多くの町民の皆さんが健康を意識し、スポーツに親しんでいただけるよう、これまで取り組みを進めてまいりました「健康スポーツゾーン構想」に基づく整備も最終段階を迎えております。昨年着工しました、防災機能をもった新艇庫の建設につきましては、順調に工事が進み、本年3月に完成を予定しております。また、新年度には現艇庫を改修するとともに、諏訪自動車協会の車検場の一部を借りして健康スポーツ施設として整備を進めてまいります。

教育環境の改善に向け、異常気象による猛暑から園児、児童、生徒の安全と健康を守るため、昨年、普通教室をはじめとする全教室へ、エアコンの設置をさせていただきました。本年は、子育て世代の皆さんがより安心して子どもを産み育てることのできる環境整備に力を入れ、母子保健サービスと、子育て支援サービスを一体的に提供するための体制を構築してまいります。

起業創業支援施設として整備を進めてまいりました「ホシスメバ」では、地域おこし協力隊が中心となって、起業創業や小商いに係

る取り組みを行うとともに、入居者の皆さんと力を合わせて、地域との交流促進や起業創業を目指す方々への支援を継続して進めてまいります。また、今年度駅前通りの既存空き店舗を改修し、新たな地域や世代交流の促進及び起業創業支援の場を創出してまいります。

町の工業支援の拠点である「ものづくり支援センター」では、町内企業の新規受注獲得のための企業間マッチング支援や販路拡大に向けた共同出展事業へ引き続き力を入れてまいります。また、企業の課題でもある人手不足や人材育成にも目を向け、商工会議所等との連携により、情報発信や企業の求める支援に取り組んでまいります。

農業につきましては、消費者への安心・安全な食材の提供を後押しするとともに、関係機関と連携しながら経営や技術に関する支援、地産地消の推進を図ります。また、農産物や加工品のPRのため、本年も八王子メッセ、南知多町産業まつりへの出店を計画するとともに、地産地消を進める朝市の開催、イオンステーションパーク店における農産物の委託販売の促進、小学校への食農教育、有害鳥獣駆除などを通じて町の農業の持続的な振興に取り組んでまいります。

観光面におきましては、昨年、八島高原の公衆トイレの改修工事が完了し、今シーズンからは訪れた観光客の皆様にご満足いただけるようになりました。また、歴史的景観に配慮した街なみ環境の整備が進み、多くの方にまち歩き観光を楽しんでいただいております。本年も「下諏訪らしさ」をさらに引き出す観光施設や環境の整備充実に努めてまいります。

順調に整備が進んでまいりました赤砂崎公園は、今年度右岸区域の工事が完了し、4月より全面供用開始の予定となっております。公園及び河川空間の更なる活用の推進を図る

ため、昨年より民間の事業者の皆さんとともに「赤砂崎水辺空間活用プロジェクト」を立ち上げ「あかすなみずべテラス」と題して春夏、秋にイベントを開催し、大勢の方にお越しいただきました。今後も、町民、事業者の皆さんとともに赤砂崎の活用の可能性について検証し、賑わいの創出につなげてまいります。

昨年は、ラグビーワールドカップが日本で開催され、日本代表の活躍は人々に勇気と感動を与えてくれました。ラグビーは、私たちに深いリスパクトの精神や、チームがひとつになることの大切さなど、様々なことを教えてくれました。これまで経験したことのない人口減少と高齢化の時代において、町の明るい未来を切り開いていくことは、町民の皆様を力と結束しなくては実現できません。令和最初の新年を迎え、下諏訪の更なる発展と飛躍に向け、町民の皆様と心をひとつに、力強くまちづくりに邁進してまいります。

結びに、本年が町民の皆様にとって、幸多き1年となりますことを心からご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

下諏訪町長 青木 悟

